

福良港津波防災ステーション 現場見学会

竣工後に注目を集められる建築を一足先に見学してみませんか？

日 時：2009年11月14日(土) 14:00～ 現地集合（現場の都合により、延期の場合があります）

会 場：福良港津波防災ステーション(南あわじ市福良甲1528-4) TEL:0799-50-2350

建築主：兵庫県淡路県民局洲本土木事務所

設 計：遠藤秀平建築研究所

規 模：延床面積375.61㎡ 最高高さ10.64m

内 容：施工現場見学

工程及び施工方法の説明

施設内容の説明

参加費：建築士会会員¥500 一般¥1,000 学生無料

定 員：30名

申込先 社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 事務局（申込み締切：11月6日(金)）

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-6-13 エクセル山手2階

TEL 078-327-0886 FAX 078-327-0887

E-mail bcc07635@nifty.com

氏名、会員・非会員・学生の種別、連絡先をお知らせ下さい。

* ヘルメットを御持参下さい。

（学生及び一般の方でヘルメットをお持ちでない方は、申し込み時にお知らせ頂ければ、当日貸し出し致します）

* 現地へは、高速舞子バス停から高速バスで約80分、福良バスターミナル又は福良バス停下車徒歩1～2分です。

* 現地に隣接して、福良港の観光拠点となっている「うずしおドームなないろ館」¹があります。

¹「うずしおドームなないろ館」：半円形の屋根が特徴的な、総合観光施設。うず潮観潮船の発着場になっているのをはじめ、観光案内所や食事処を併設している。当日、うずしおを御覧になりたい方は、10:50出港のうず潮観潮船に乗船頂くと大潮と重なりうずしおの見頃となっています。乗船時間は約1時間です。

* その他、南あわじ市内には、丹下健三氏の「戦没学徒記念 若人の広場」(南あわじ市阿万塩屋町2658-7)²、国登録有形文化財「田中家住宅主屋」(南あわじ市賀集立川瀬字居屋敷28-1)³等があります。

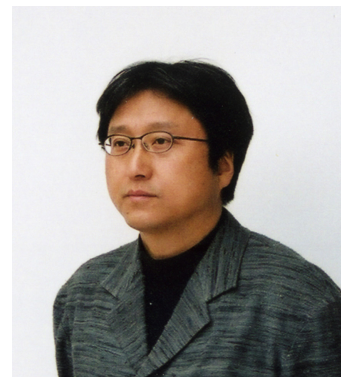
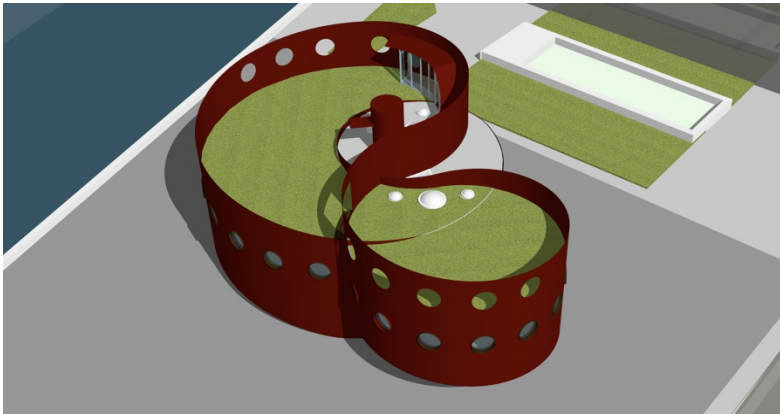
²「戦没学徒記念資料館」は、阪神淡路大震災による被害を受け閉館していますが、モニュメントは見学可能です。

³「田中家住宅主屋」は、暮らしておられる方がいらっしゃいますので、敷地内に入ることは出来ません。

福良港津波防災ステーションコンセプト

本施設は、福良港に点在する水門の一括制御と港内の監視、観光客を対象とした津波の危険性に対する啓蒙活動、津波襲来時の避難場所の確保などを主な目的としている。このため、必要な空間を確保しながら港内を監視でき、外力に対して合理的な形状と構造が求められた。

1階をオープンにして想定津波高さ以上に主階を設定することはもちろん、応力の集中をさけるため曲面壁を採用し、効率的に外力を受け流す形状とした。また、建物全体を耐候性鋼板による面構造とすることにより、メンテナンスフリーを実現している。曲面壁は約60枚に分割してパネル化し、現場組み立てとすることで工期短縮を図った。



遠藤 秀平
建築家
神戸大学大学院教授

経歴
1960年 滋賀県生まれ。
1986年 京都市立芸術大学大学院修了。
石井修 / 美建・設計事務所勤務。
1988年 遠藤秀平建築研究所設立。
2004年 ザルツブルクサマーアカデミー教授。
2007年～ 現職。